



2018年4月13日

各位

会社名 株式会社システムインテグレータ  
 代表者名 代表取締役社長 梅田 弘之  
 (コード番号: 3826 東証第一部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 山田ひろみ  
 (TEL. 048-600-3880)

(訂正・数値データ訂正)「平成30年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

平成30年4月6日に公表いたしました「平成30年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

## 記

## 1. 訂正の理由

「平成30年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載内容に一部誤りがありましたので、これを訂正するものであります。

## 2. 訂正箇所

サマリー情報 2. 配当の状況

## 【訂正前】

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年2月期	—	0.00	—	8.00	8.00	44	32.3	3.6
30年2月期	—	0.00	—	19.00	19.00	105	30.4	7.5
31年2月期(予想)	—	0.00	—	19.00	19.00		<u>30.6</u>	

## 【訂正後】

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年2月期	—	0.00	—	8.00	8.00	44	32.3	3.6
30年2月期	—	0.00	—	19.00	19.00	105	30.4	7.5
31年2月期(予想)	—	0.00	—	19.00	19.00		<u>30.2</u>	

【訂正前】

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

【訂正後】

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

決算短信 3ページ

③ERP事業

【訂正前】

こうした取り組みの結果、コンソーシアム14社のうち販売実績No.1の企業に与えられる「GRANDIT AWARD 2017 Prime Partner of the Year」を過去4回受賞しておりますが、2017年度も過去同等レベルの実績を上げています。

【訂正後】

こうした取り組みの結果、コンソーシアム14社のうち販売実績No.1の企業に与えられる「GRANDIT AWARD Prime Partner of the Year」を過去4回受賞しておりますが、2017年度も過去同等レベルの実績を上げています。

決算短信 18 ページ  
(貸借対照表関係)

【訂正前】

※1 損失が見込まれる受注契約に係る仕掛品と受注損失引当金は、相殺せずに両建てで表示しております。損失の発生が見込まれる受注契約に係る仕掛品のうち、受注損失引当金に対応する額は次のとおりであります。

	前事業年度 (平成29年 2月28日)	当事業年度 (平成30年 2月28日)
仕掛品	1,155,440千円	<u>903,313千円</u>
計	1,155,440千円	<u>903,313千円</u>

【訂正後】

※1 損失が見込まれる受注契約に係る仕掛品と受注損失引当金は、相殺せずに両建てで表示しております。損失の発生が見込まれる受注契約に係る仕掛品のうち、受注損失引当金に対応する額は次のとおりであります。

	前事業年度 (平成29年 2月28日)	当事業年度 (平成30年 2月28日)
仕掛品	1,155,440千円	<u>912,822千円</u>
計	1,155,440千円	<u>912,822千円</u>

決算短信 23 ページ

3. 金銭債権の決算日後の償還予定額

【訂正前】

当事業年度 (平成30年 2月28日)

	1年以内 (千円)	1年超 5年以内 (千円)	5年超 10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金及び預金	<u>917,779</u>	—	—	—
売掛金	589,698	—	—	—
合計	<u>1,507,477</u>	—	—	—

【訂正後】

当事業年度 (平成30年 2月28日)

	1年以内 (千円)	1年超 5年以内 (千円)	5年超 10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金及び預金	<u>917,746</u>	—	—	—
売掛金	589,698	—	—	—
合計	<u>1,507,444</u>	—	—	—

【セグメント情報】

Ⅱ 当事業年度（自平成29年3月1日 至平成30年2月28日）

【訂正前】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	Object Browser 事業	EC・オム ニチャネ ル事業	ERP事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	628,667	699,278	2,438,268	3,766,214	1,098	3,767,312	—	3,767,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	628,667	699,278	2,438,268	3,766,214	1,098	3,767,312	—	3,767,312
セグメント利益	376,897	190,453	433,683	1,001,033	△40,780	960,253	△465,291	494,961
セグメント資産	179,865	113,472	669,870	963,207	1,023	964,231	<u>2,219,010</u>	3,189,348
その他の項目								
減価償却費	45,416	21,315	47,781	114,512	—	114,512	10,395	124,908
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	61,963	8,853	4,449	75,265	—	75,265	2,356	77,621

(注) 1 (1) 「その他」の区分は、報告セグメントに該当しない新規事業を含んでおります。

(2) 「調整額」のセグメント利益△465,291千円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用465,291千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門の費用であります。

(3) 「調整額」のセグメント資産2,219,010千円は、主に各報告セグメントに配賦していない全社資産（現金及び預金、有形固定資産など）が含まれております。

(4) 減価償却費の「調整額」10,395千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費等であります。

(5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の「調整額」2,356千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産（工具器具及び備品など）の設備投資額であります。

2. セグメント利益の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

【訂正後】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	財務諸表 計上額 (注) 3
	Object Browser 事業	EC・オム ニチャネ ル事業	ERP事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	628,667	699,278	2,438,268	3,766,214	1,098	3,767,312	—	3,767,312
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	628,667	699,278	2,438,268	3,766,214	1,098	3,767,312	—	3,767,312
セグメント利益	376,897	190,453	433,683	1,001,033	△40,780	960,253	△465,291	494,961
セグメント資産	179,865	113,472	669,870	963,207	1,023	964,231	<u>2,225,116</u>	3,189,348
その他の項目								
減価償却費	45,416	21,315	47,781	114,512	—	114,512	10,395	124,908
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	61,963	8,853	4,449	75,265	—	75,265	2,356	77,621

(注) 1 (1) 「その他」の区分は、報告セグメントに該当しない新規事業を含んでおります。

(2) 「調整額」のセグメント利益△465,291千円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用465,291千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門の費用であります。

(3) 「調整額」のセグメント資産2,225,116千円は、主に各報告セグメントに配賦していない全社資産(現金及び預金、有形固定資産など)が含まれております。

(4) 減価償却費の「調整額」10,395千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費等であります。

(5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の「調整額」2,356千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産(工具器具及び備品など)の設備投資額であります。

2. セグメント利益の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

以上